桜町地区市街地再開発事業に関連する都市計画等の説明会

日時：平成２６年１月１７日（金）　第1回目　午後２：００～
第2回目　午後６：００～

場所：九州産交グループ　本社２階　大会議室

次　　第

１　挨拶

２　桜町地区市街地再開発事業等の概要について

３　都市計画（原案）について

４　質疑応答

次第２

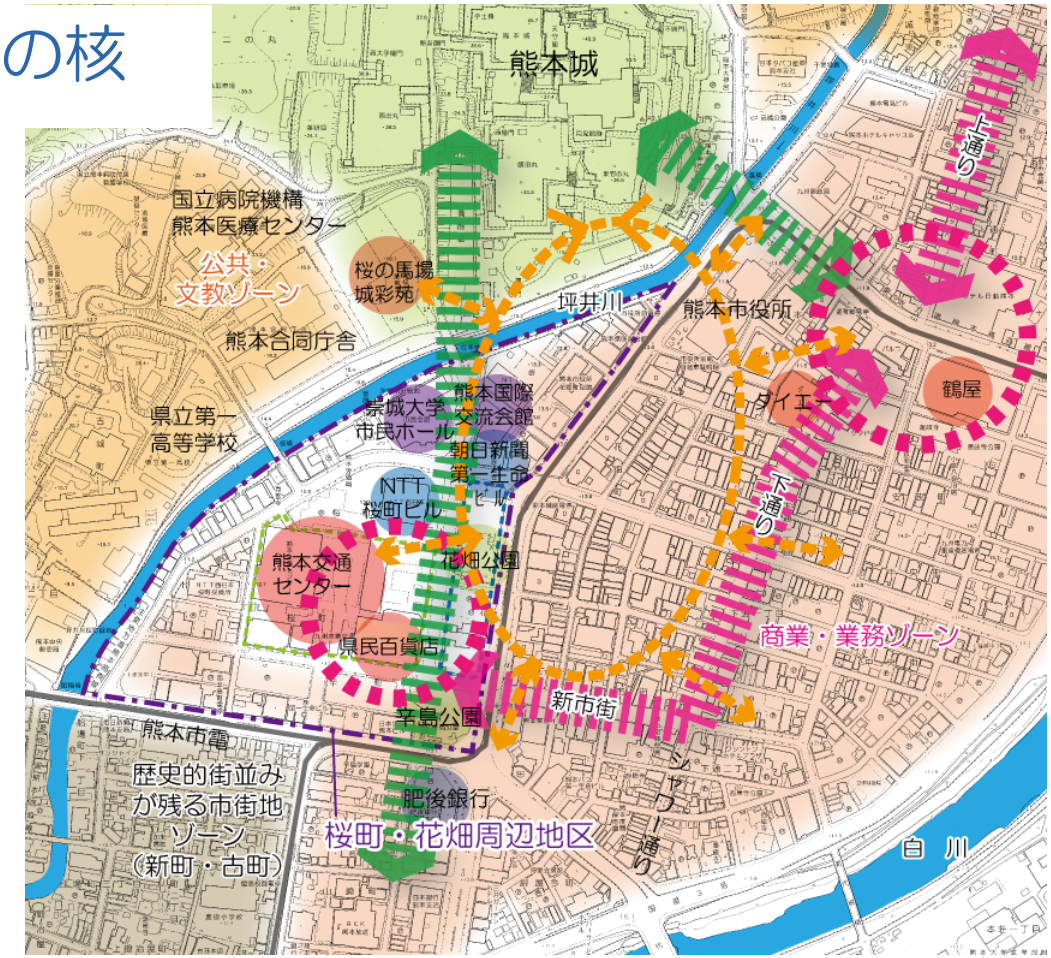
桜町地区市街地再開発事業等の概要について

”桜町・花畑周辺地区”の位置づけ

●九州中央の拠点都市にふさわしい「くまもとの顔」

●中心市街地の再デザインの核

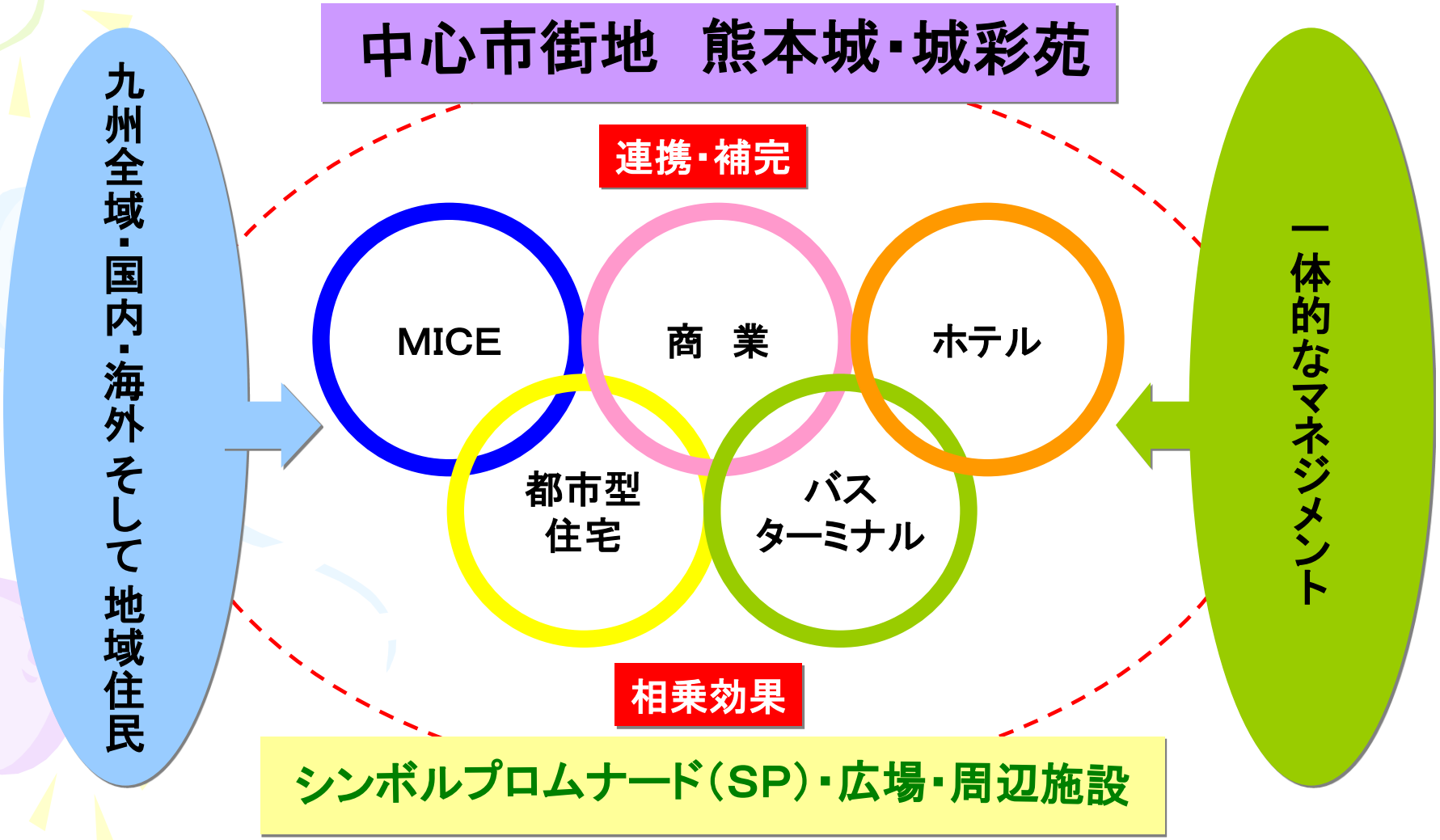
再開発による魅力ある
まちづくりを推進



開発目標：『わくわく』に出会う「熊本・新城下まち」の形成

ここに来ると常に新たな何かに出合える

九州を代表する周遊と交流の複合拠点を形成する。

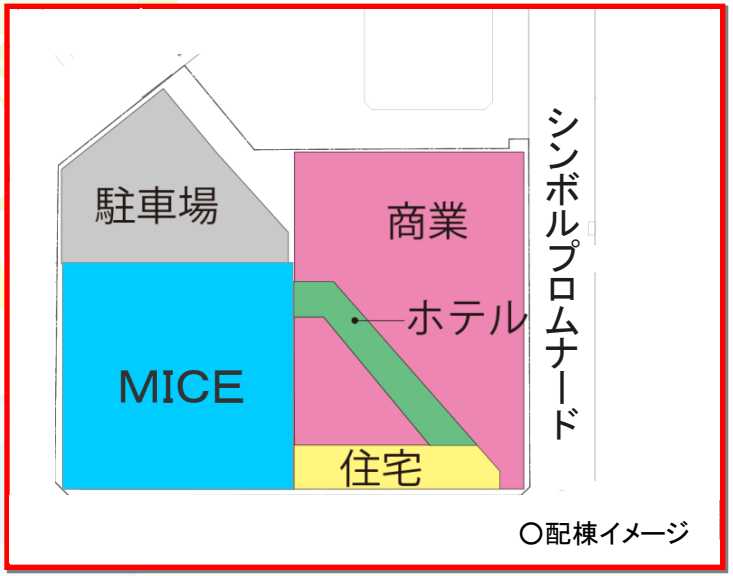


■グランドデザインコンセプト

熊本城の庭続き空間＝「大広間と庭」

①シンボルプロムナード＝まちの大広間
②桜町＝おもてなしの庭

計　画　概　要



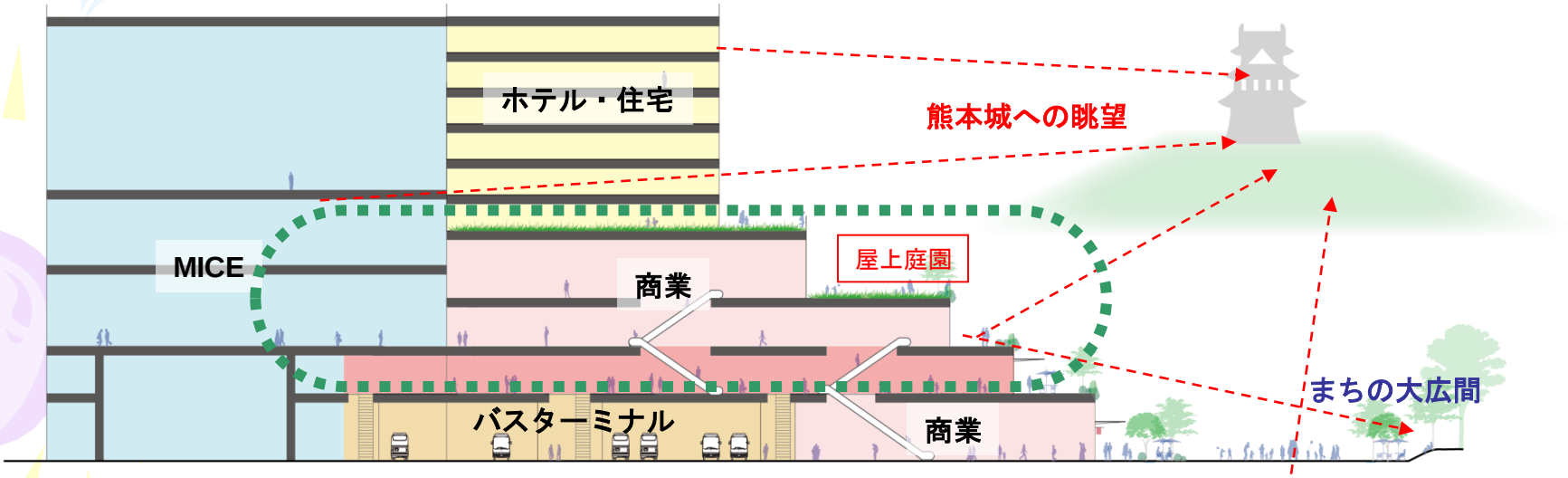
○配棟イメージ

国内外の新たな出会いを生みだす
MICE施設

上質のおもてなしを提供する
プレミアムホテル

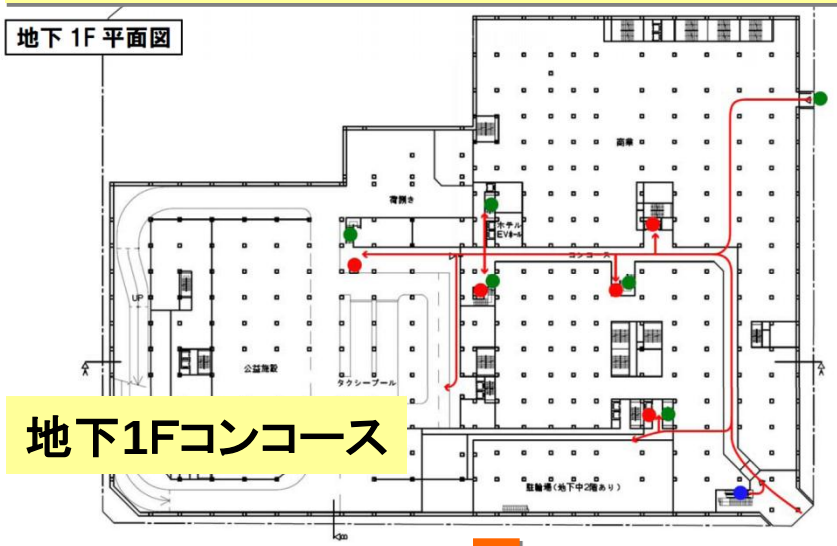
“わくわく”に出会える
商業施設

多くの方々のお出かけを支える
バスターミナル



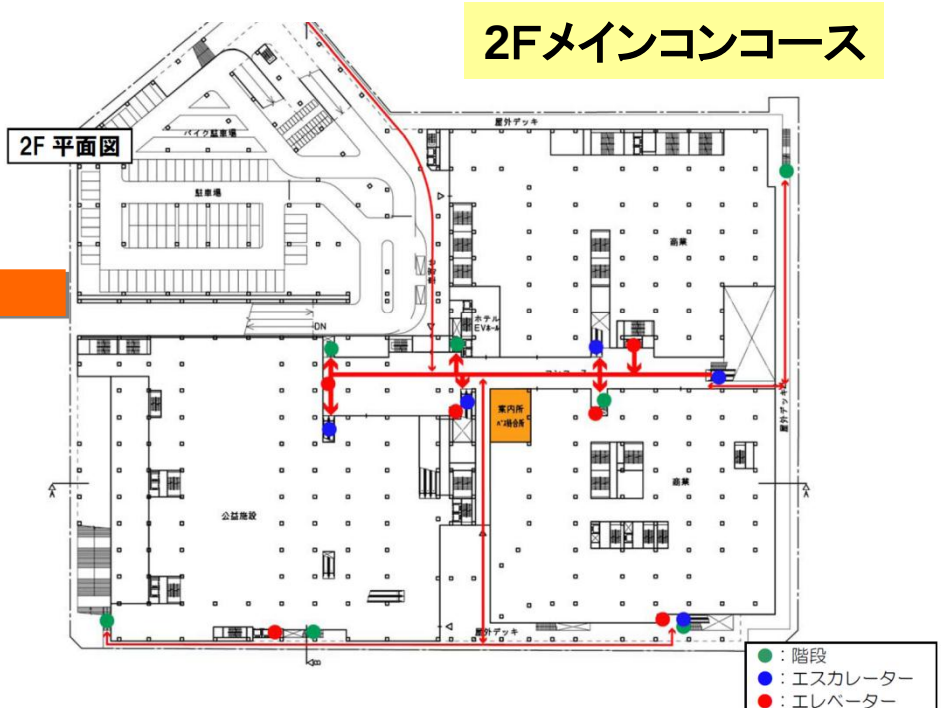
○断面イメージ

バスターミナルの概要



【バスターミナル利便性向上】

- ○コンコースによるわかりやすい動線
- ○乗り場のコンパクト化（36バース⇒26バース）
- ○バリアフリーの対応（エスカレータ・エレベータ設置）
- ○安心・安全な空間（ホームドア）



ONLY　ONE　を目指して

外観デザイン提案

柔らかな空間が折り重なる「連続庭園」と「山並み」

■庭園のイメージ

「おもてなしの庭」＝現代の陽春庭

～水をテーマにしたおもてなしの空間の創生～

再開発事業スケジュール

2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年	2017年 平成29年	2018年 平成30年
4月（予定）　都市計画決定 9月（予定）　施行認可	権利変換認可 解体・着工			春　竣工
	仮バスターミナル			

■MICE施設の概要

＜MICEとは＞

国際会議や全国規模の大会、学会などのコンベンション（Convention）に加え、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、展示会・見本市、文化的催しなどのイベント(Event/Exhibition)などを包括した新たな集客施策の枠組みを指す言葉です。

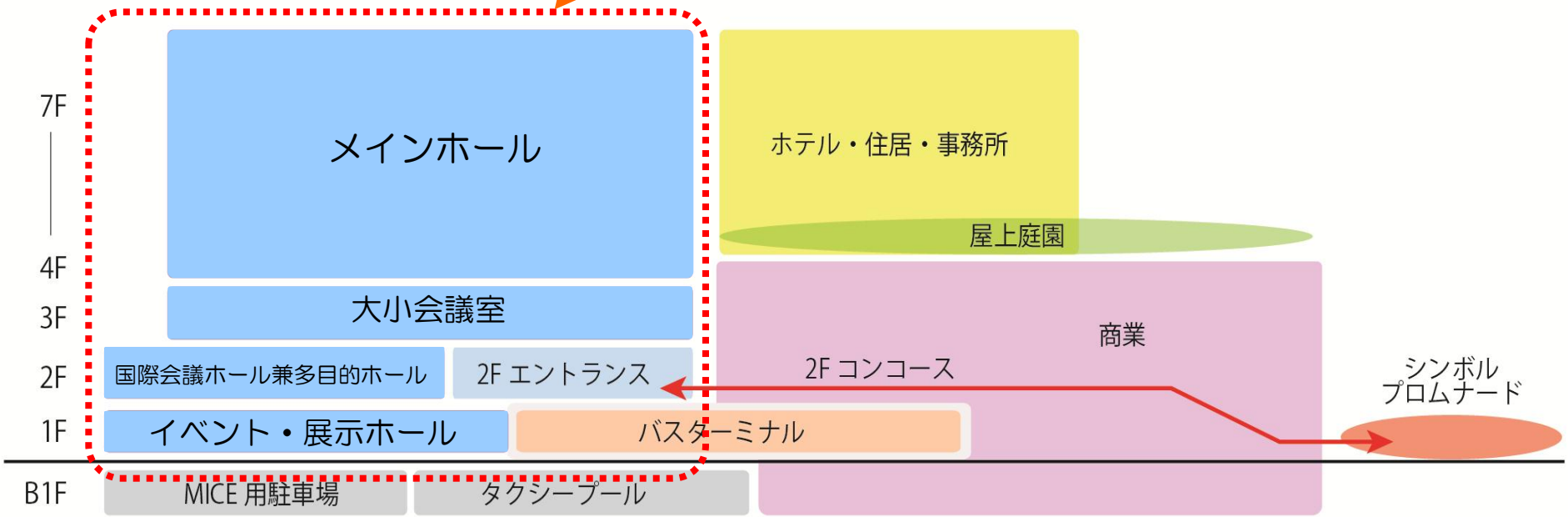
＜施設全体の断面イメージ＞

階	主要室名	規模等
4～7F	メインホール	・固定席2,300席 ・仮設座席700席の追加配置が可能（計3,000人収容可能）
3F	大小会議室	・60㎡～520㎡の計13室　計約2,000㎡
2F	国際会議ホール兼多目的ホール	・約1,000㎡（2分割して利用可能）
1F	イベント・展示ホール	・約1,800㎡（3分割して利用可能）
施設全体		・全体で約34,000㎡

※本計画の施設プランを尊重しつつ、施設規模や仕様等を見直す場合があります

①

施設全体の利用で3,000人規模の学会が開催可能
近隣施設と連携して5,000人規模の学会にも対応可能

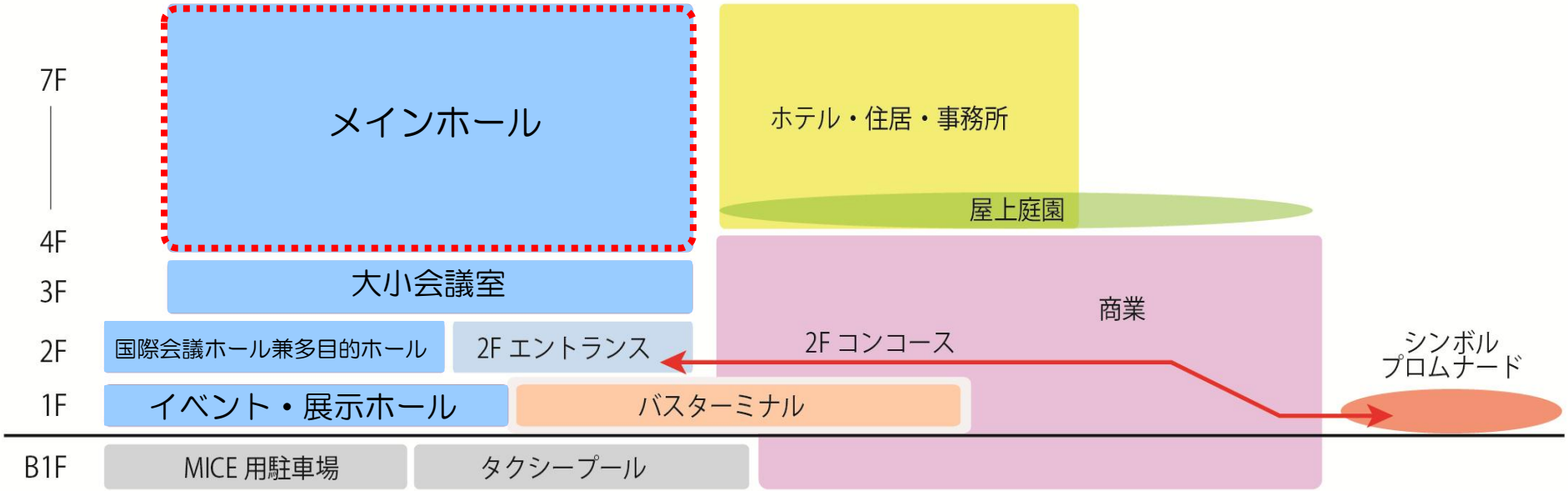


階	主要室名	規模等
4～7F	メインホール	・固定席2,300席 ・仮設座席700席の追加配置が可能（計3,000人収容可能）
3F	大小会議室	・60㎡～520㎡の計13室　計約2,000㎡
2F	国際会議ホール兼多目的ホール	・約1,000㎡（2分割して利用可能）
1F	イベント・展示ホール	・約1,800㎡（3分割して利用可能）
施設全体		・全体で約34,000㎡

※本計画の施設プランを尊重しつつ、施設規模や仕様等を見直す場合があります

②

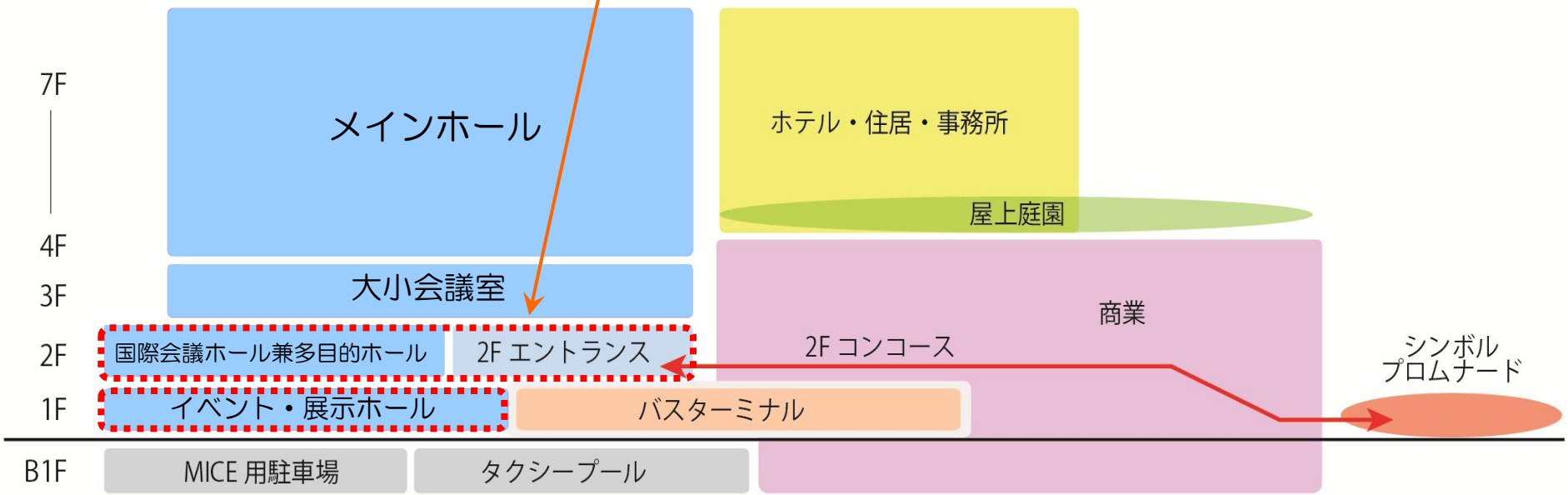
3,000人規模の式典・大会等の開催が可能
これまで開催が困難であった2,000人規模のツアーコンサートの開催が可能



階	主要室名	規模等
4～7F	メインホール	・固定席2,300席 ・仮設座席700席の追加配置が可能（計3,000人収容可能）
3F	大小会議室	・60㎡～520㎡の計13室　計約2,000㎡
2F	国際会議ホール兼多目的ホール	・約1,000㎡（2分割して利用可能）
1F	イベント・展示ホール	・約1,800㎡（3分割して利用可能）
施設全体		・全体で約34,000㎡

※本計画の施設プランを尊重しつつ、施設規模や仕様等を見直す場合があります

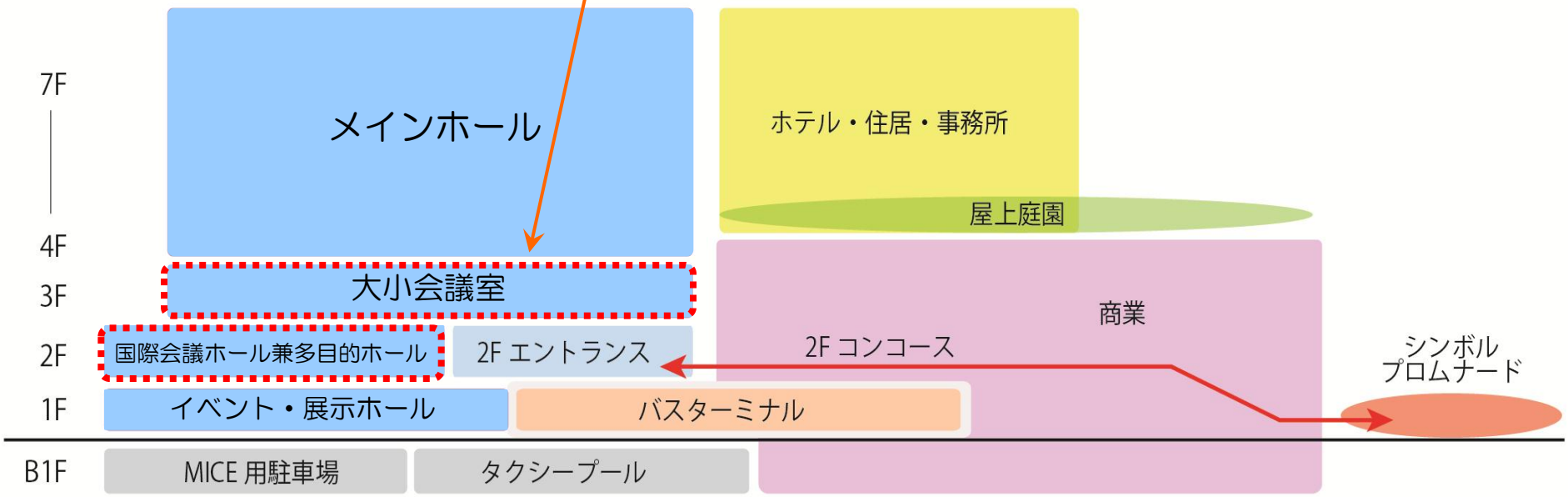
③ まちの賑わいを生みだすような様々なイベントや展示会の開催が可能



階	主要室名	規模等
4～7F	メインホール	・固定席2,300席 ・仮設座席700席の追加配置が可能（計3,000人収容可能）
3F	大小会議室	・60㎡～520㎡の計13室　計約2,000㎡
2F	国際会議ホール兼多目的ホール	・約1,000㎡（2分割して利用可能）
1F	イベント・展示ホール	・約1,800㎡（3分割して利用可能）
施設全体		・全体で約34,000㎡

※本計画の施設プランを尊重しつつ、施設規模や仕様等を見直す場合があります

④ 国際会議の開催に対応可能、小規模な学会、会議に対応可能



階	主要室名	規模等
4～7F	メインホール	・固定席2,300席 ・仮設座席700席の追加配置が可能（計3,000人収容可能）
3F	大小会議室	・60㎡～520㎡の計13室　計約2,000㎡
2F	国際会議ホール兼多目的ホール	・約1,000㎡（2分割して利用可能）
1F	イベント・展示ホール	・約1,800㎡（3分割して利用可能）
施設全体		・全体で約34,000㎡

※本計画の施設プランを尊重しつつ、施設規模や仕様等を見直す場合があります

MICE施設を整備することによるオンリーワンの創出

・中心市街地の回遊性を更に高め、熊本独自の魅力を創り出す。

・「人・モノ・情報」の交流拠点として、昼夜を通じて様々な賑わいを創り出す。

・熊本城の眺望を確保するとともに、屋上庭園と一体的な利用により
来館者に対して充実したおもてなしが可能な他に類を見ない施設とする。

平成26年1月10日～2月9日まで
ＭＩＣＥ施設整備基本計画（素案）のパブリックコメントを実施しています。

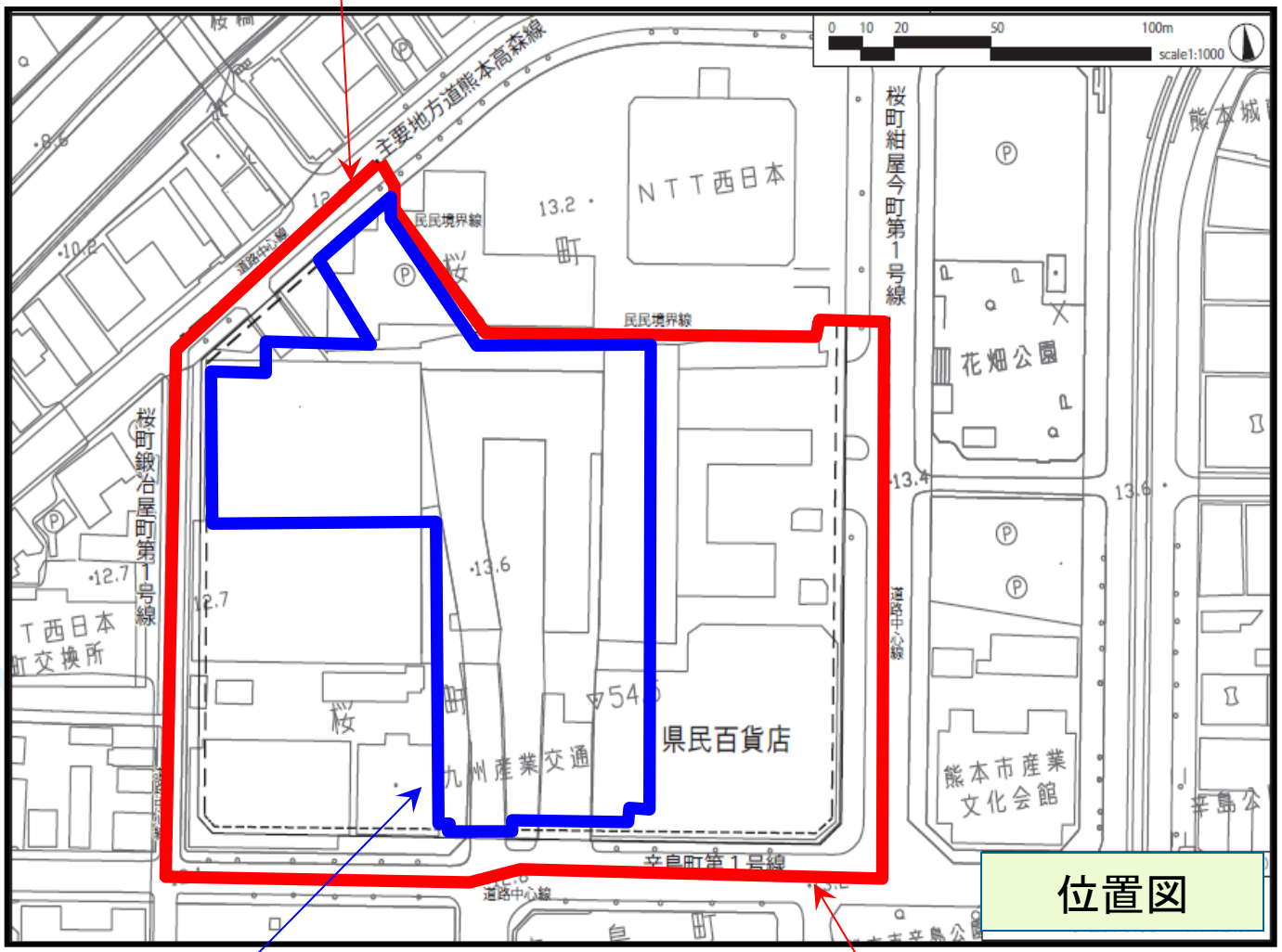
※基本計画（素案）は、熊本市ホームページで閲覧可能です。
又、下記の場所で基本計画（素案）の縦覧や要約版・意見提出用紙の配布を行っています。
市政情報プラザ（市役所1階）、区役所（中央を除く。）、総合出張所、出張所、
河内総合出張所芳野分室、中央まちづくり交流室、五福まちづくり交流室、
河内まちづくり交流室、森都心プラザ市民サービスコーナー、総合保健福祉センター
（ウェルパルくまもと）、各地域コミュニティセンター

次第３
　都市計画（原案）について

①熊本都市計画第一種市街地再開発事業の決定
②熊本都市計画高度利用地区の変更
③熊本都市計画自動車ターミナルの変更
④今後の都市計画のスケジュール

都市計画（原案）について

熊本都市計画第一種市街地再開発事業の決定



位置図

熊本都市計画自動車ターミナルの変更

熊本都市計画高度利用地区の変更

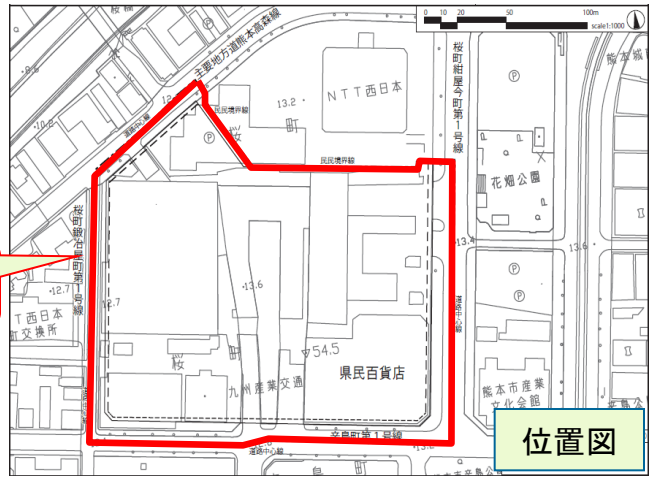
都市計画（原案）について

①熊本都市計画第一種市街地再開発事業

土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図ることを目的として実施する市街地再開発事業について、主に次の事項を都市計画に定めるものです。

名　　称	桜町地区第一種市街地再開発事業			
面　　積	約3.7ha			
建築物の整備に関する計画	建築面積	約29,200㎡	延べ面積	約159,600㎡
	主要用途	商業施設、バスターミナル、宿泊施設、業務施設 住宅施設、公益施設、駐車場		
建築敷地の整備に関する計画	敷地面積　約30,300㎡			

第一種市街地再開発事業区域



位置図

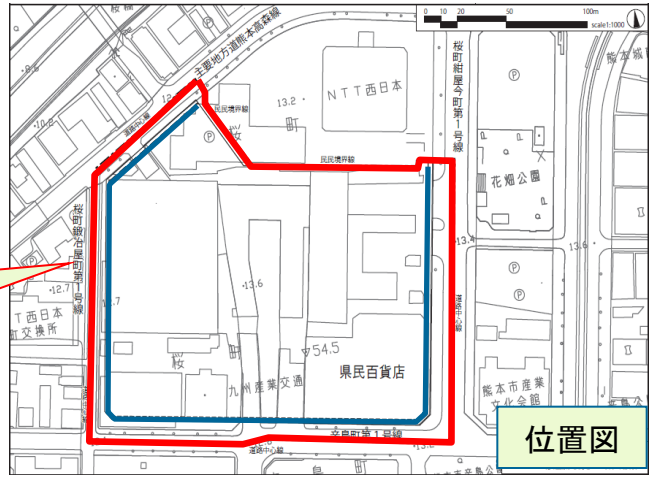
都市計画（原案）について

②熊本都市計画高度利用地区

市街地再開発事業の目的を達成するため、主に次の事項を都市計画に定めるものです。

種　　類	高度利用地区（桜町地区）
面　　積	約3.7ha
建築物の容積率の限度	最高600%以下・最低200%以上
建築物の建ぺい率の最高限度	80%以下
建築面積の最低限度	200㎡以上
壁面の位置の制限	道路境界線から2m （ただし、南側道路に面する公共用歩廊の部分を除く）

高度利用地区区域



位置図

都市計画（原案）について

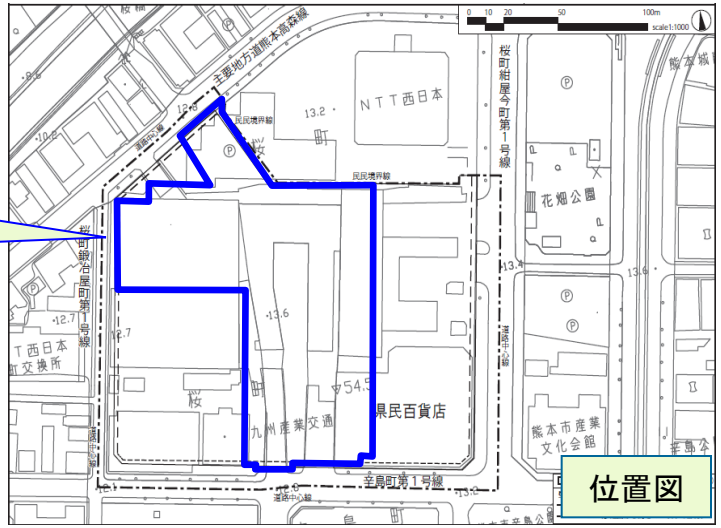
③熊本都市計画自動車ターミナル

利用者及び自転車（バス）事業者の利便の増進を図ることを目的として、主に次の事項を都市計画に定めるものです。

種　　別	バスターミナル
名　　称	熊本交通センターバスターミナル
位　　置	熊本市中央区桜町
面　　積	約1.4ha

※備考：停留場所数26、自動車ターミナルについては立体的な範囲を定める

ターミナル区域



都市計画（原案）について

④今後の都市計画のスケジュール（予定）

都市計画（原案）の説明会　平成２６年１月１７日

（計画（原案）について住民の皆様に説明を行いご意見を伺います。本日の説明会です。）

↓

都市計画の案の作成

↓

都市計画の案の縦覧（公告）　２月下旬（予定）から２週間

（都市計画の案縦覧を行います。縦覧期間においては熊本市の住民および利害関係人の方は都市計画の案に対する意見書を提出することができます。）

↓

熊本市都市計画審議会　３月下旬（予定）

（学識経験者、市議会議員、市民、関係行政機関の委員で構成される都市計画審議会の中で案について審議します。）

↓

都市計画の決定　４月下旬（予定）

（都市計画の種類、名称、区域等の内容を決定します。）

次第４　質疑応答